

令和4年度 体協ニュース

No.	4-⑨
行事名	加盟団体会長会・理事長会
会場	板橋区立グリーンホール 1階ホール
日時	令和4年10月25日(火) 午後6時30分～
主催	公益財団法人 板橋区体育協会

令和4年10月25日(火)午後6時30分から公益財団法人板橋区体育協会役員(理事及び監事)、体育協会加盟27団体の会長・理事長(代理含む)、板橋区体育施設管理者(指定管理者)が集まり、「加盟団体会長会・理事長会」が開催されました。司会は、中村省三総務部長が務めました。

初めに加藤勝一体協会長から挨拶があり、続いて報告事項として「令和4年度事業計画の状況報告」が山口高史事業部長からありました。今年度予定されていた各種行事につきましては、昨年度に比べると新型コロナウイルス感染症の影響で中止や休止となった事業は減少し、感染症対策を徹底し開催した事業もあることが報告されました。また、「板橋区・高島平ハーフマラソン」につきましては、残念ながら今年度も中止となりましたが、来年度の開催に向け、準備を始めることが報告されました。

次に、高橋正一郎新規事業企画部長から「第1回 スポーツフェスティバル in 板橋」について説明がありました。「小豆沢周辺からスポーツの楽しさと普及を区民の皆様に届けたい」また、「スポーツ発信基地」となることを期待していることと、ジュニア世代の新規開拓とあらゆる世代の区民が楽しみ、色々なスポーツにチャレンジできるふれあいと参加の機会となればと、事業の目的について、説明がありました。この計画事業を実現することにより、「板橋区スポーツビジョン2025」に掲げられている10年後のあるべき姿“区民が健康で心豊かに暮らし、感動とにぎわいのあるスポーツのまち”づくりのお手伝いができることを期待していることについて話されました。

次に「その他」として安田満雄専務理事から令和6年4月から東京都体育協会が「東京都スポーツ協会」へ名称が変更になることが報告されました。それに伴い、板橋区体育協会も名称を変更する予定で「検討会」を設置、必要な経費を令和5年度予算に組み込んでいくとの話がありました。

「質疑応答・意見交換」では、「ハーフマラソン大会実施時の医療体制について」「高齢化に関して各競技での対応について」「体育施設の確保や自然災害後のグラウンドの復旧作業について」など、多くの発言がありました。

結びに、吉田輝男体協副会長から挨拶があり、閉会となりました。

(写真：加藤 章、文：浅賀公子)

